

10月16日 久住山(大分県)

若林 憲治

山名	久住山(大分県)1,787m	山行名	例会 一座目
ルート	牧ノ戸⇒扇ヶ鼻⇒久住山分れ⇒山頂⇒久住山分れ⇒北千里浜⇒三俣山登山口⇒牧ノ戸		
山行日	令和年2年10月16日(金)	天候	晴れから曇り
参加者	リーダー： 若林 男性：西川 女性：伊藤(多) 和田	サブリーダー： 山下(隆)	合計： 5名

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
牧ノ戸	集		北千里浜	着	15:15
	発	10:15		発	
扇ヶ鼻(昼食)	着	11:45	三俣山登山口	着	15:25
	発	12:10		発	
久住山分れ	着		やまなみハイウェイ登山口	着	
	発	12:50		発	16:30
山頂	着	13:20	牧ノ戸登山口	着	17:00
	発	13:35		発	
久住山分れ	着	14:07		着	
	発	14:15		発	

山行報告

別府港に到着後福岡県の霊峰英彦山に登山予定であったが、福岡県田川地区は雨との情報で急遽登山計画を大分県久住山に変更の為 牧ノ戸登山口(1,309m)への到着時間が遅れる事に成った。久住山への登山コースは牧ノ戸峠からは直登 1,500m程過ぎた辺り小ピーク杓掛山からは尾根伝いを一時間程歩き左手に星生山更に進むと避難小屋の有る久住分かれに到着。この地はトイレも完備されており眼上には雄大な久住山がそびえたつ。休憩場所には最高ポイントである。久住山分かれ周辺付近は平坦なコースで疲労調整も出来山頂迄の登りもスタミナを温存して登山することが出来た。下山は久住山分かれから今も水蒸気を噴き上げて硫黄の匂いが立ち込める硫黄山を横目にして広々とした北千里浜へ 三俣山登山口を経由して笹をかき分けながら やまなみハイウェイ登山口に到着 約30分歩き牧ノ戸登山口に到着。終日曇り空では有ったが下山後小雨程度も全く傘 雨具使用する事も無く登山には影響なく本当にラッキーな登山日変更の初日の登山で有った。

夜半から明け方にはかなり強い雨が降り当初の計画通りの登山行動で有れば 一座目の英彦山 二座目の久住山は何れも雨天の中での登山を余儀なくされる可能性が高かった。英彦山(福岡県)と久住山(大分県)移動が可能な距離であり気流の変化も幸いした事で雨に合わず鮮やかな紅葉も目に焼き付ける事が出来た登山になった。

ヒヤリハット 無し



久住山



久住山周辺の紅葉

久住山 感想

2020.10.23 山下 隆

九州の山は一見遠く、なかなか行きにくい場所に感じるの、例会を組むのも難しい。そのためもあってか、市民秋山登山時に皆で楽しもうと久住山・高千穂峰・由布岳などが計画されてきた。由布岳では天気にめぐまれたが、他の2山は雨中登山だった。それを避けるために、数年前泊りを伴う秋の市民登山は雨の少ない春に変更された。

2011.10月に市民秋山登山で久住山に行った時の感想文では「ひとことでいえば 残念・無念、でも仕方ない、いつか又 再チャレンジを！」と記載されていて、難行・苦行の山行だった。今回は一人を除き4人は初めての久住山山行で期待は高まる。

天気予報では翌日が雨予報なので、初日に本命の久住山とし、初日に予定していた英彦山と入れ替えての登山となった。これが成功し、小雨に会ったのは、下山後の数分間だけで助かった。



久住山の牧ノ戸登山口から登ること10分で、最初の感激スポットに出会う。写真のように皆さんカメラに収めるのに夢中になり、テンションが上がる。曇り空なので錦模様の紅葉とは言い辛いが、今回の登山の最初のトキメキだった。登るにつれて見渡す限り紅葉につつまれ、80才を過ぎてても自分の足でこの素晴らしい場所にいられる幸せを思う。

西千里浜に入ると名のごとく浜のような平原で西部劇の場面となり疲れも吹き飛んだ。ゴロゴロ石の頂上を極めた後に北千里ヶ浜に下ると、又もや西部劇の始まりで西千里よりはるかに広くでかい。今までにない景色に見とれながらのルンルン気分だ。長者原への道は崩落場所があって閉鎖されているのは事前調査で分かっていたので、自動車道のある大曲へ降りた。この道は9年前の雨の市民登山では火山灰の滑りやすい難所だったと報告されていたが、今日は雨にあわなかったの、それほど苦にならず助かる。今日の久住山は険しい所や癒しの場面が程よくちりばめられていて十二分に楽しめた。最後の大曲から牧ノ戸登山口への舗装道路の40分歩行は唯一苦痛の時だったが、その後、宿への途中で「やまなみ牧場温泉」で疲れをとりほっとする。すっかり暗くなった難しい道をWさんのリードとNさんの運転で無事宿に予定より遅れて着いた時はほっとした。小雨も降ってきて、改めて英彦山から久住山に変更



した判断で良かったと思う。翌朝には夜中の雨もほぼ上がり、標高950mにある宿からは朝焼けと雲海も想定外の幸運だった。9年前の雨の市民登山の再チャレンジが会としては達成したことになった。